

ふれまち神出通信

神出ふれあいのまちづくり

協議会委員長

神出町自治協議会会長 坂口 勤

昨年引き続き、神出町自治協議会会長を努めさせていただくことになりました坂口です。引き続き、精一杯努めさせて頂きます。皆様方のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

平素は、神出町の皆様方には神出町自治協議会の諸活動並びにふれあいのまちづくり協議会活動に対し、ご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。書面にてお礼申し上げます。

まずは、令和4年度の自治会長を紹介させていただきます。

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 東 (坊池敏哉) | 老ノ口(西馬忠彦) |
| 南上 (飛鳥日出丸) | 南下 (谷端雅人) |
| 田井 (西馬昌典) | 古神 (竹中敏勝) |
| 勝成 (久戸雅仁) | 五百蔵(総毛佑治) |
| 小束野(大西光男) | 山西 (六田健雄) |
| 広谷 (山口勝昭) | 北 (坂口 勤) |
| 吉生 (岩本裕司) | 池下 (田中秀實) |
| 新々田(浅原康行) | 池田 (庄司和男) |
| 神納 (上月 稔) | 上北古(櫛橋克治) |
| 下北古(中崎和弘)※4地区が変わりました。 | |
- 執行部役員
- | | |
|-----|-------------|
| 会 長 | 坂口 勤 (北) |
| 副会長 | 西馬 昌典 (田井) |
| 副会長 | 浅原 康行 (新々田) |

ふれまち神出通信発行団体
神出ふれあいのまちづくり協議会

西区神出町田井三四一二
地域福祉センター

発行責任者 坂口 勤
編集者 浅原 康行

会 計 田中 秀實 (池下)
幹 事 櫛橋 克治 (上北古)
監 査 久戸 雅仁 (勝成)
監 査 竹中 敏勝 (古神)

今年度一年間以上のメンバーで活動させて頂いてきます。御協力よろしくお願ひします。

今年度は、穏やかなお正月を迎えてコロナ禍が収束し普段の日常生活が送れると願っています。しかし残念ながら一週間もたらずに新型コロナウイルスが拡大となり、蔓延防止が発せられ厳しい状況が続くこととなってしまいました。早く収束することを願ひたいと思います。

本年度のふれあいのまちづくり協議会活動及び自治協議会活動においてもコロナ感染防止対策を徹底して実施したいと思ひます。

特に、子供たちも大勢参加いただける、七夕祭り、神出の里ウォーク、神出町文化祭等の開催に取り組んでいきたいと考えています。

また、神出町の課題である交通問題（175号バイパス早期4車線開通渋滞解消、農道の事故）、少子高齢化に伴う様々な課題・諸問題の解消に向けて、一歩でも前進できるように取り組んでいきたいと思ひます。皆様方のご支援・ご協力を願ひします。

コロナ禍の厳しい状況ではありますが、いつ起こるか分からない災害対応を考慮しつつさまざまな活動を通じて、地域のコミュニティを確保し、結束できる組織を作り上げたうえで行政の支援を

引き出し、神出町の安全・安心を確保し、住みやすく・住み続けたい神出町とするため皆様方と一緒により取り組んでいきたいと思ひます。重ねて皆様方の御理解・御協力をお願いいたします。

令和四年神出支団の取り組みについて

西消防団神出支団副支団長 松村 正巳

いつもお世話になり、ありがとうございます。さて令和四年になっても新型コロナウイルスのデルタ株からオミクロン株の感染者が増え続いています。感染拡大の影響で行事が延期又は中止が続いています。

私たち消防団は火災活動だけでなく、災害・防災福祉コミュニケーションや自治会のイベントの警備にも参加しています。

昨年十一月十四日の神出の里ウォークにも積載車で先導、警戒にあたりました。その休憩中ウォークに参加していた親子が積載車を見学し、記念撮影していました。十二月十二日に消防団の年末器具点検を行い、その後一斉放水し安全祈願をしました。

今年になり、神出町内で野焼き・たき火による火災が多数発生しています。全国でも火災のニュースが相次いでいます。この時期は空気が乾燥しているので、みなさん火の元には十分に気をつけてください。

皆様の生命・財産を守り、安心・安全のためご支援ご協力をよろしくお願ひします。



神出かたこ会連絡協議会

会長 西馬 浩三

平素は何かとお世話になっております
神出かたこ会は、「みんなと、元気に、楽しく」
高齢期を歩んでいきたいと活動しています。

グラウンドゴルフ・輪投げ・ゲートボール・ボッチャ・囲碁将棋などを楽しんでます。カタココリの世話をし、来園者と交流する中で、古代の蝶地域で育てるギフチョウにも関心を広げています。クラブもあります。カラオケでのどを鍛え、肺を鍛えているクラブもあります。

コロナ禍で思うように活動できないのが残念ですが、集まって楽しむことが健康寿命を延ばすと思われまます。農作業の合間にゲームを楽しみ、談笑することが背筋を伸ばし心の健康にも役立つようです。

単位クラブが少なくなってきましたが、各地区内のご協力で何とかクラブが活性を高めていけたら、神出の高齢者もますます若々しく長寿を全うできると思います。どうかよろしくお願ひします。



民生委員児童委員協議会(民児協)の近況

神出地区民生委員児童委員協議会
会長 正井 樹

日頃からの民児協関係活動へのご協力・ご支援ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。

コロナ禍の中で民児協行事のうち実施出来ていないのは、乳幼児対象の子育てひろば「かんでっ子」(毎月第三水曜、ひとり暮らしの高齢者対象の「ふれあい会食会」(毎月第一火曜)、です。十二月十五日の「かんでっ子」クリスマス会では、クリスマス音楽の演奏、雪降らしシヨの後サンタとトナカイからプレゼントを貰いとても喜んでいました。今後色々な行事(児童館で実施、年三回程は自然教育園)を企画していきますので乳幼児親子の方々の参加よろしくお願ひします。

「ふれあい会食会」は四月・五月は中止していましたが、六月以降は毎月実施しています。参加者のうち希望者は神出の四つの老人施設の送迎付きです。送迎車の利用は参加者の約七割です。福祉センターに到着後約四十五分間のビデオ鑑賞のあと季節感のある弁当(手作りでなく購入したもの)とペットボトルのお茶を手に持って施設の送迎車で自宅に帰られています。また、ひとり暮らしの高齢者と老々世帯に九月の敬老のお祝ひ



(鹿児のもち)と十二月のクリスマス(靴下・カレンダー)にプレゼントを実施しました。どなたでも参加できる「ふれあい喫茶」はコロナ対策のため中止となっておりますが、参加者には寂しい思いをさせておりますが、再開の目途はまだ立っておりません、もうしばらくお待ち下さいますようよろしくお願ひいたします。



「叱ってくれるうちが花」

神戸市立神出中学校
校長 長井 功

大寒を過ぎた今日この頃、植木に寒肥を施す時期に思うことがあります。それは、春に花をつけ果実をつけるために、この寒い時期に肥料を施さなければならぬのと同じように、子育てにおいても、中学生の時期に、少々口うるさいと思われるかもしれませんが、最後のチャンスと思っって教しなければいけないということです。

「彼岸過ぎての麦の肥、二十歳過ぎての子に意見」という譬えもあります。二十歳を過ぎると自分自身で痛みを味わいながら学ばなければならぬことでしょう。いつも生徒たちには、「素直であらう」と話しています。素直に話を聞ける子



は、良い花を咲かせるようになるからです。子育ては、「農」の道を説く諺にたくさんのヒントがありますね。『うり作るより土作れ』、『畑の肥は主人の足跡が最上』、『麦こやし、春の二度より冬の一度』、『稲は刈甸百日植甸一日、麦は刈甸一日時甸百日』、『大苗に豊作なし』最後に『田作る道は農従え』：「教育は私たちに任せておきなさい。」と胸をはれる教師でありたいと思います。

コロナ禍にありながらも、地域の皆様や保護者の方々の温かいご支援のもと、生徒たちは笑顔をお忘れず、学校生活を過ごしています。今後も、時に厳しく、時に優しく、中学生たちを見守ってください。



中学校 PTA 活動報告

神出中学校 PTA 会長 萩原 誠

春暖の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のことと、お慶び申し上げます。

平素より PTA 活動に、ご支援とご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

PTA 会長になり、右も左もわからないまま早くも 1 年が経とうとしています。

教職員様・本部役員様をはじめ、地元の皆様にご支援・ご協力を頂いたおかげでなんとかやってこれたかなと思っております。

コロナ禍ではありますが、昨年は体育祭での保護者競技（玉入れ）が開催できたこと大変ありがたく思っております。参加されました皆様ありがとうございました。

また、文化祭では感染予防対策を十分に実施し、野点を開催することができました。

初めて本格的な抹茶を飲まれる生徒もおり、苦さと美味しさを堪能されたかと思えます。

ぜひ保護者の方も、子供たちと一緒に野点に参加されてみてはいかがでしょうか？ また違った子供たちの表情が見えるかも知れませんよ。

通学路の危険箇所として、中学校下の道路の落ち葉で自転車がスリップして転んだり、木の枝で顔をケガしたりと、かなり危険な状態にあり問題視されていますが神戸市議会議員さんを通じて、西建設事務所さんに清掃及び剪定を実施して頂きました。

通学路の危険箇所につきましては、子供たちの安全のため引き続き改善できるよう努力してまいります。

最後になりましたが、今後ともご理解・ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



一陽来復

神出小学校校長 中山 雅仁



新型コロナ感染拡大が見られ、二月上旬に全国にまん延防止重点措置が適応される都道府県が増えています。学校では「With コロナ」の時代と言われ感染症予防を第一にした生活様式に大きく変化しています。マスクを必ず付け何度も手洗いをし、友だちとの話しは少し離れ給食は無言で食べています。そのような状況の中、第三百三十回卒業生として三十一名が神出小学校を巣立っていきます。子供たちは、友達との接触を極力避けるために不要不急の外出をしないなど一人一人の行動が制限されることになり、感染症の見えない恐ろしさとともにコロナ禍前の生活にはない息苦しさやストレスを感じているのではないのでしょうか。しかし、子供たちは思いやりの気持ちをもって優しさを分け合い、できることを最大限頑張ろうとする姿を見せています。その姿に心強さを感じます。

こういふ時だからこそ、辛抱強く困難に耐え今自身がすべきことは何かしっかり考え行動し、このピンチを人間的に成長するチャンスだと捉えて、決してコロナに負けないでほしいと思っております。「一陽来復（いちようらいふく）」と云うのは、寒い冬が終わり春が来るように、苦難の後には明るい未来が待っている、悪いことの後に良いことがあるという意味の四字熟語です。中国の陰暦では衰えていた太陽の力が再び勢いを増してくるといふことになるそうです。そのため、新年が来る



という意味だけでなく、悪いことが続いたあとに幸運が来るという意味も込められているそうです。コロナ感染拡大等で良くないことが続いているこの時代も、「さあ、これからは良いことがどんどんやって来る」と気持ちを切り替えるきっかけを与えてくれる言葉になります。

子供たちには新型コロナ感染禍が収まり、普段の学校生活に戻るその日を心待ちにして、日々努力してほしいと思います。



「一年を振り返って」

神戸市立神出小学校 P T A 会長 本郷 雅敏

浅春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より P T A 活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

私が P T A 会長をお引き受けして、もうすぐ一年となります。皆様のご協力のもと、こんな私でもなんとかここまで来ることができました。P T A 本部署員・運営委員さんをはじめ、保護者の皆様、教職員の皆様、そして地域の皆様の献身的とも言えるご努力、ご活躍のおかげであると思っております。本当にありがとうございます。特に金井顧問には、全く頭が上がりません。ほぼ会長代理のような働きをさせてしまっていること、本当に申し訳ございません。何かと動きづらい環境

下ではありますが、いつか奮らせてください。そして、私事ではありますが四月からも、会長職を続けさせていただく所存です。皆様にはもう一年、お付き合いのほど、宜しくお願いいたします。

長く続くコロナの影響が尾を引いている昨今。自粛ばかりの生活に慣れて来た子供たちのために、活動内容の継承がほぼできない中でも、新しく新役員に就任頂ける方のために、「子供たちのために何ができるのか」「継続的で魅力的な P T A 活動とは何か」を考え、より良い活動のため展開して参ります。皆様には、本校の P T A 活動が、より実り多きものになりますよう、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

子どもの居場所づくり事業「エールかんで」について

神出ふれあいのまちづくり協議会（エールかんで）



神出のこどもたちを対象に、食事の提供や学習支援、遊びの場としての居場所づくりを行うと共に、地域のあらゆる世代とつながり、こどもたちの育ちを支援することを目的として「ふれあいのまちづくり協議会」の中に「エールかんで」を設立して活動しています。

現在、エールかんででは、夏休み・冬休み・春休みの期間中に開催しています。活動内容は、食事（パン等の場合有り）の提供と、学習（宿題中、心ができる場所を提供し、習字、料理、囲碁将棋、絵手紙、しめ縄作り（十二月）が体験できます。定員は二十人で参加費はこども百円、大人二百円です。場所は神出地域福祉センターです。

現在の参加者は12名です。まだ余裕がありますので参加者を募集中です。



新型コロナウイルス感染症防止に向けて

神戸市立神出児童館 副館長 福井 浩

令和4年1月27日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために昨年8月以来のまん延防止等重点措置が兵庫県で適用されました。

神出児童館では、非常事態宣言下の学校休業中も休館することなく、特別保育として子どもたちをお預かりしてきました。

その間、感染防止のための手指消毒液・マスク・ゴム手袋・館内消毒液等の調達にも全職員で取り

組み、なんとか必要最低分を確保し、児童館内の感染防止に努めてきました。ようやく感染防止に必要な物資は十分確保できるようになりましたが、気を緩めることなく感染防止に最大限の注意を払っています。

児童館という限られたスペースの中で、「密閉」「密集」「密接」の3つの密を避けることは非常に難しく、特にソーシャル・ディスタンス、十分な距離を取ることは困難を極めています。そのため可能な限りの感染防止に努め、各部屋に空気清浄機の設置、テーブル等には抗ウイルス・抗菌コーティングを定期的に実施しています。さらに毎日の館内消毒を徹底しています。開館後は、1時間おきの手指消毒・換気ならびに冬季は、湿度にも留意し、湿度40%以上を保つようにしています。そして、安心・安全な児童館となりますよう、日々取り組んでいます。

これからも収束するまでの長期にわたり継続をお願いしなければなりません。利用者の皆様にも、①マスクの着用、②手洗い消毒、③検温、④3つの密を避ける等にご留意いただきたいと思っております。

ご報告が遅くなりましたが、神出児童館は、特定非営利活動法人に認証され、令和3年4月1日より管理運営が神出ふれあいのまちづくり協議会から「特定非営利活動法人 神出」となりましたのでお知らせいたします。

今後とも、皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



神出あんしんすこやかセンター

社会福祉士 水嶋 誠

日頃より、神出あんしんすこやかセンターの事業並び諸活動に對しまして、温かいご支援やご協力を賜り心より感謝しております。

前回に引き続き、あんしんすこやかセンターの活動を少しでも神出町の皆さまに知っていただく機会が持てるよう、こうして記事をお載せさせていただけることとなりました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

今回は、「介護リフレッシュ教室」についてご説明させていただきます。

市内の各あんしんすこやかセンターでは、在宅で認知症高齢者や要介護高齢者を介護しているご家族が心身ともにリフレッシュする時間を持つていただけるよう概ね2か月毎に教室を開催しております。

今年度も新型コロナウイルス禍ではありますが、感染症対策を徹底しながら開催する事ができました。

今年度は、「いろいろ知りたい・聞きたい物忘れのお話」のテーマで、専門の講師をお招きして認知症と物忘れの違い等を分かりやすく解説して



いただき、実際に介護されているご家族様同士でも学びの時間を共有する事が出来て、大変好評をいただきました。また、次回以降、ご参加の希望があればお気軽にセンターまでお問い合わせください。

神出あんしんすこやかセンター

住所：651-1231-1

西区神出町東1188-70

電話：078-1964-2481



キャップ・ラベルは必ずはずして!!

～ペットボトルの出し方ルール～

飲み物・調味料が入っていたペットボトルが対象です。このマークが目印!!

ペットボトル本体

「缶・びん・ペットボトル」へ

※キャップをはずした後に残るリングはそのままOKです

キャップ・ラベル

「容器包装プラスチック」へ

● ペットボトルの出し方ポイント

- ①キャップ・ラベルをはがす
- ②中を軽く水ですすぐ
- ③横にして平たくつぶす
- ④中袋は使わず直接指定袋へ!!